

DSI（デジタル音声挿入方式）

1970 年（昭和 45）、デジタル海底中継方式とアナログ方式との比較検討が行われ、デジタル方式のほうが雑音や妨害に強く、かつ再生中継が可能となるため、長距離伝送に適しているなど多くの利点があることが明らかになった。反面、音声に対する所要伝送帯域がアナログに比べて十数倍広くなるという欠点もあることがわかった。このため、音声の無音期間を圧縮する DSI（Digital Speech Interpolation）を開発し、所要帯域幅を 1/4 程度に圧縮できるようになった。

出典：KDD 社史